

レジメン名 (治療名)					
XP 療法 (カペシタビン+シスプラチン)					
癌腫	レジメン (略語)	実施区分	抗がん剤適応区分		
胃癌	XP	<input checked="" type="checkbox"/> 入院 <input checked="" type="checkbox"/> 外来	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発 <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法	<input type="checkbox"/> 大量化学療法 <input type="checkbox"/> 局所化学療法 <input type="checkbox"/> その他	
投与順	抗がん剤名 (商品名・略称)	1日投与量	投与経路	投与時間	投与日 (day1、8等)
1	カペシタビン【Cape】	2000mg/m ²	点滴静注		Day1 (夕) ~day15 (朝) 14日間
2	シスプラチン【CDDP】	80mg/m ²	点滴静注	2時間	Day 1
1コースの期間 (次コースまでの標準期間)		3週間ごと			
総コース数及び総投与量の限界		6コース。6コース終了後はカペシタビン継続。 ただし、患者の状態に応じてシスプラチン継続可能。			
プレメディケーション ポストメディケーション		5HT3拮抗薬、デキサメタゾン、アプレピタント			
備考		<ul style="list-style-type: none"> ・高齢、腎機能低下患者は①の投与で行う。 ・外来化学療法を施行する場合は、飲水1L以上可能であること。 ・Grade2以上の副作用出現時は、次回より①の投与順での施行を検討すること。 			

≪投与順≫

① 腎機能低下、高齢者 (≧65歳)、1L以上の飲水不可でCDDP投与にあたりリスクの高い患者

Day 1 (入院)

(1)	ソルデム 3A	500mL	2時間
(2)	硫酸 Mg 補正液	8mL	
	ラクテック D	500mL	2時間
(3)	生理食塩液	100mL	
	パロノセトロン 0.75mg	1A	
	デキサメタゾン 8mg	2V	30分
(4)	生理食塩液	300mL	
	シスプラチン	80mg/m ²	2時間
(5)	生理食塩液	500mL	2時間
(6)	生理食塩液	50mL	
	フロセミド 20mg	1A	30分
(7)	ラクテック	500mL	2時間
(8)	ソルデム 3A	500mL	2時間

Day2-3

- | | | |
|-------------|-------|------|
| (1) ソルデム 3A | 500mL | |
| デキサメタゾン 8mg | 1V | 2 時間 |
| (2) 生理食塩液 | 500mL | 2 時間 |
| (3) ソルデム 3A | 500mL | 2 時間 |
| (4) ソルデム 3A | 500mL | 2 時間 |

内服抗がん剤：カペシタビン 2000mg/m² 朝夕食後 14 日分

内服制吐剤：アプレピタントカプセル 125mg 1Cap 分 1 1 日分

アプレピタントカプセル 80mg 1Cap 分 1 2 日分

② 腎機能正常、年齢<65 歳、1 L 以上の飲水可能で CDDP 投与にあたりリスクの低い患者

- | | | |
|----------------|---------------------|------|
| (1) ラクテック | 500mL | 1 時間 |
| (2) 硫酸 Mg 補正液 | 8mL | |
| ラクテック D | 500mL | 1 時間 |
| (3) 生理食塩液 | 100mL | |
| デキサメタゾン 8mg | 2V | |
| パロノセトロン 0.75mg | 1A | 10 分 |
| (4) 生理食塩液 | 300mL | |
| シスプラチン | 80mg/m ² | 1 時間 |
| (5) ラクテック | 500mL | 1 時間 |
| (6) 生理食塩液 | 50mL | |
| フロセミド 20mg | 1A | 10 分 |
| (7) ラクテック D | 500mL | 1 時間 |

Day2-3 飲水 1000mL 以上

内服抗がん剤：カペシタビン 2000mg/m² 朝夕食後 14 日分

内服制吐剤：アプレピタントカプセル 125mg 1Cap 分 1 1 日分

アプレピタントカプセル 80mg 1Cap 分 1 2 日分

デキサメタゾン 0.5mg 8 錠分 2 朝昼食後 3 日分